

北星まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度第2回

会議概要	
日時	令和5年11月29日(水曜日) 午後6時30分から午後8時00分まで
場所	北星地区センター大ホール
出席者	委員（10名、正副会長以外は50音順） 中村会長，有田副会長，小笠原委員，加賀美委員，佐藤（潤）委員，竹内委員 松本委員，宮津委員，森委員，山田委員 （欠席者 青塚委員，市川委員，佐藤（美）委員，高橋委員，土井委員， 三上委員，村田委員，矢三委員） 事務局 地域活動推進課 小松主幹，木下主査 北星公民館 五十嵐主幹
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	1名
会議資料	次第 資料1 令和5年度北星地域事業報告 資料2 北星まちづくり推進プログラム

議事の内容

1 開会

欠席者の報告，配付資料の確認。

2 検討事項

(1) 令和5年度の北星地域まちづくりについて

(1) 事業について

まずは、本市防災課職員により、令和6年度に北星地域（近文東地区・近文西地区）で実施が予定されている協働事業「仮）逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」についての説明があった。主な説明・意見は以下のとおり。

【防災課】

- ・西神楽や忠和など、河川氾濫で危険な地区から立ち上げている。
- ・防災計画を作成するのが主目的だ。
- ・北星地域は広いので、まずは危険度の高い「近文東地区」「近文西地区」を想定している。

【事務局】

- ・これは負担金事業であり、既存の包括型補助金とは別枠のものである。

【委員】

- ・新たな実行委員会を立ち上げるのではなく、既存の北星6地区防災事業をベースにしてはどうか。
- ・北星地域内で順番にということであれば、該当する地区で取り組む際に、その地区の方に加わっていただくようにしてはどうか。

続いて、資料1「令和5年度北星地域活動計画」を使って、関係する実行委員より、今年度の事業報告が行われた。主な報告内容は以下のとおり。

<北星6地区防災事業>

- ・今年度は近文小学校で開催。
- ・昨年度と比較すると集客は少なかったが、適度な人数であったように思う。
- ・メインターゲットは、昨年度同様親子連れ（幼児から小学生）。
- ・煙発生装置を使用した避難体験、新聞紙を使用した防災スリッパ作成など、新たな要素が加わり新鮮であった。

<北星まちづくり地域福祉ネットワーク>

- ・これまでの「やさしい福祉のまち通信」以外に、今年度は地域の集いの場を提供するため、北星地区センターで落語を開催した。
- ・落語は、東京より真打ちの噺家を招いて開催。
- ・リハビリ体操指導士による、健康体操も実施。
- ・心と身体の健康を意識した。
- ・特別養護老人ホーム「エテルナ」利用者様の絵画を展示した。
- ・3月頃に「やさしい福祉のまち通信」を発行する予定。

<北の散歩道環境保全事業>

- ・今年度は8月に、北の散歩道を会場に「北の散歩道なつまつり」を開催。
- ・天候に恵まれなかったが、250名程の参加者があった。
- ・今年度は、旭橋みずほ通り商店街振興組合の協力を得て、流しそうめんも実施。

- ・北星地区センターでは、落語寄席を開催。
- ・冬のイベントも検討したが、今年度は見送る予定。

(2) 北星まちづくり推進プログラム改定について

事務局から、資料2「北星まちづくり推進プログラム」の改定について説明を受け、検討を行った。詳細は以下のとおり。

<3 地域資源と特色のある取組>

特色のある取組の「ふれあい祭り（大町商店街、旭星地区市民委員会）」は、取組終了のため削除。「女性による防火活動（旭星地区女性防火クラブ）」に、近文地区を追加。

<4 地域の現状分析と課題解決のための取組・市への要望等>

「基本的な生活環境の確保、環境保全、事故・犯罪の防止、防災」の「課題解決の取組・魅力づくり」に記載されている「女性による防火活動（ほのぼの防火訪問等）」、実施主体に近文地区を追加。

「郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化（世代間交流）」の「課題解決の取組・魅力づくり」に記載されている「町内会等役員への若年層登用」に関して、実施主体から、北星地区市民委員会（現在、行っていないため）。

【会長】

- ・後日、何か思いついた委員の方は、北星まちづくり推進プログラム改訂意見書を事務局へ、ご提出ください。

3 その他

事務局から、次の2点について説明があった。

- 1、地域まちづくり推進協議会合同研修会開催について
- 2、まち協委員改選について

4 閉会